

第12回千葉県資源評価検討会議 会議録

- 1 開催日時 令和2年8月28日（金） 午後1時30分～午後2時20分
- 2 開催場所 WEB会議
- 3 出席者 <構成員>
東北大学大学院農学研究科 教授 片山 知史
県農林水産部水産局漁業資源課長 小嶋 一隆
県水産総合研究センター次長（資源研究室長事務取扱） 梶山 誠
<その他>
県関係職員14名

4 検討事項

- (1) 国による資源評価魚種拡大への対応について
- (2) 資源評価基準について
- (3) 令和2年度資源評価対象種の選定について
- (4) その他

5 検討事項の概要及び検討の結果

(1) 国による資源評価基準について

事務局から、国の主導で進められている資源評価魚種拡大について、現段階での状況と今後の対応（案）について説明があった。事務局（案）のとおり、当面は県独自の資源評価を継続した上で、今後、国の資源評価体制が確立され、国と県の評価結果に差異がないと判断される場合は県独自の評価は実施しないこと。また、国の資源評価に必要なデータ提供等については現状の研究資源の範囲内で可能な限り協力すること承認された。

(2) 資源評価基準について

事務局から第1回千葉県資源評価検討会議において決定された資源評価基準は変更せず、従前の基準により評価を行う旨説明があり、事務局（案）のとおり取り扱うことが承認された。

(3) 令和2年度資源評価対象種の選定について

事務局から、今年度資源評価対象種及び資源評価対象候補種について、説明を行い、事務局（案）のとおり承認された。キンメダイ等15魚種については今年度も引き続き資源評価を行うこととする。その他の候補種について、タチウオ等8魚種は評価・管理が必要と考えられるが知見・漁獲情報が不足していること。イサキ等3魚種については評価・管理が可能か、また必要があるのか不明であること。サワラについて

は県での評価・管理が困難であることから、今年度の評価対象種としないが、いずれも次回会議において、評価票に準ずる資料を関係者間で共有をする。また、サヨリ、トラフグ、ホンビノスガイ、コウイカについては研究の進捗情報を関係者間で共有する。構成員及び出席者からの意見等は以下のとおり。

- ・構成員から、水産総合研究センターで集計しているデータベースについては県内の全漁協をカバーしていないことから、評価を実施するにあたって問題がないか質問があった。
- ・担当者から、データベースにおいて主要な漁協のデータはカバーできており、データベースにない部分は直接漁協へ問い合わせることで、必要なデータをおおよそ得られている状況である旨説明があった。
- ・担当者から、サヨリ、トラフグ、コウイカについては「資源・漁獲情報ネットワーク構築委託事業」を通じて知見が蓄積されてきていることから、次回会議の際に研究の進捗状況を報告する旨説明があった。
- ・構成員から、サワラについては評価対象外であるが、国の評価対象種にもなっていることから、次回会議において、漁獲量の推移等のデータについて共有することが提案された。

(4) その他

事務局から今後のスケジュールと次回の資源評価会議の予定を説明した。

- ・担当者から補足として、国の資源評価魚種拡大については、今後、より具体的な検討が行われる予定であることから、進展があれば次回以降の会議で報告する旨説明があった。